

でんち

社団法人 **電池工業会**

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011

東京都港区芝公園三丁目5番8号

機械振興会館内

電話 (03) 3434-0261 (代)

ホームページ <http://www.baj.or.jp/>

ご意見・お問い合わせ <http://www.baj.or.jp/contact/>

発行人 中谷謙助

平成20年12月1日

第9回「でんちフェスタ」を日本科学未来館で開催

(社)電池工業会は、11月1日(土)東京・江東区の日本科学未来館で、第9回「でんちフェスタ」を、東京都教育委員会、東京MXテレビ、東京新聞、テレビ神奈川、千葉テレビ、テレビ埼玉の後援で開催した。開場予定時間前から入場待ちの列ができるほどの関心の高さで、昨年を大きく上回る約2,400名の入場者で終日賑わった。

今回で9回目を迎えた“でんちフェスタ”は、11月11日(十(プラス)・一(マイナス)の組み合わせ)の電池の日から、12月12日(野球のバッテリーのポジションの1と2)のバッテリーの日までの“電池月間”の行事の一環で行なっているイベントで、身近な電池を広く一般に再認識していただくことを目的に実施している。会場の日本科学未来館(東京都江東区)は、多くの親子連れが開場前から列をつくるほどの盛況で、来場者は電池のことを楽しく学ぶ「電池〇×クイズ」や「手作り乾電池教室」、「電池エネルギー体験教室」などのプログラムを楽しんだ。

人気の「電池エネルギー体験教室」では、身近なものを使って電池作りを体験するもので、りんごやレ



モンを使った“くだもの電池”、備長炭を正極に用いた“炭電池”、銅板と亜鉛板に人が触れることでできる“人間電池”、重曹水を炭素電極で充放電させる“二次電池”などの実験を行ない楽しんだ。実験内容も年々工夫が凝らされ、昨年にも増して楽しく余裕を持って楽しめる内容であった。

「手作り乾電池教室」では、手作り乾電池教室キットを組み立て、氏名と日付を入れたオリジナルラベルをまいて、世界に一つしかない自分だけの乾電池を完成。日頃経験できない電池作りに参加者は皆満足げであった。また、その作った乾電池を使って動くおもちゃの“虎の子”で競争させると、速く走るもの、途中で力がつきるものなど、こちらも負けず劣らず楽しい内容であった。



また、午後1時からのセレモニーでは、ご来場者に対する主催からの御礼と、「みらいのでんちアイデアコンテスト」の入賞者の発表と表彰式が実施された。いずれの作品もアイデアに富んだ、夢をいっぱい電池で、受賞者には3万円の図書券または単3電池1年分が贈呈された。

昨年に続き今回も、キッズ工作コンクールで入選した作品も展示され、でんちフェスタにふさわしいアイデア富んだ展示となっていた。

「電池〇×クイズ」では、電池に関する問題をクイズ形式で答えるもので、電池の知識が得られると共に全問正解者には景品ももらえることで、参加者は“正解”“不正解”で一喜一憂し盛り上がりを見せた。また、今回からは「スタンプラリー」に代り「クイ

ズラリー」を実施。問題に正解しないと抽選ができないこともあり、参加者はクイズの回答を展示パネルから読み取るなど、必死で答えていた。

「でんちフェスタ」も年々参加者が増加し、本年は2,400名もの参加となり会場は終日賑わった。



「自動車せいびフェスティバル」に展示参加

国土交通省が主催する「自動車点検整備推進運動」の各種イベントが、本年も各地の運輸支局等を中心に展開された。

(社)電池工業会は、10月26日大分運輸支局で開かれた「自動車せいびフェスティバル」に展示参加し、バッテリーの安全な使用方法や点検整備の重要性について啓発した。当日会場には400名もの入場者があり、終日展示ブースは賑わった。



平成20年11月二次電池部会開催

平成20年11月5日機械振興会館において、小室部会長（新神戸電機株）を議長に、平成20年11月二次電池部会が開催された。各委員会からは平成20年度活動状況について報告がおこなわれた。

1. 小室部会長挨拶

上期の各社決算が、自動車販売台数減の中で良くなっている事は、昨年度の鉛価格スライド分によるものであって、下期はかなり厳しいことが予測される。鉛価格が落ち着いてきたことは、昨年度と様変わり

の状態。
最近、電池が新聞やTVで色々取り上げられて、鉛蓄電池も含めて非常に注目されている。そういう状況になってきたということを強く意識した中で活動していきたい。

2. 各委員会報告

(1) 自動車用電池リサイクル特別委員会（後藤委員長）

・今年度も、前年に引き続き「新自動車用バッテリーリサイクルシステム構築」に向け取り組んでいる。電池工業会としてSBRAの委員会に参画している。

(2) 自動車用電池委員会（代理：玄番委員）

・今年度も、前年度の活動を継続し「新自動車用バッテリーリサイクルシステム構築」に向け、各委員会の調整を行う。
・分科会活動では、安全啓発活動、需要予測、等を継続して取り組んでいる。

(3) 資材委員会（松本委員長）

・今年度の課題は、「新自動車用バッテリーリサイクルシステム構築」への資材委員会として課題の解決に取り組んでいる。
・経済産業省通達の「原油・原材料等価格の高騰時における買ったときの具体的内容の明示について」を各社に徹底した。

(4) 産業用電池委員会（代理：事務局）

・今年度は、各社で広域認定による回収が具体化する際に問題が生じた場合、委員会として①運用内容の問題解決 ②啓発活動を実施する予定であるが、今のところ委員会としての喫緊の課題は無い。

(5) 二次電池環境委員会（丸山委員長）

・各社ともに広域認定を取得済みで、平成21年1月1日より全面実施予定である。一部既に実施しているところもある。



(6) 二次電池環境委員会（代理：事務局）

・今年度も、国内外の環境規制に関する情報収集と紹介を行っている。また、欧州REACH規制に関する情報の共有化を検討している。

(7) 二次電池技術委員会（神保委員長）

・EU電池指令の始動用電池性能ランク表示について、表示方法等の情報入手を図っている。
・安全啓発活動については、PL委員会や技術サービス分科会とも議論を行いながら進めている。

(8) 二次電池PL委員会（馳委員長）

・自動車用電池爆発事故防止の啓発活動として、バス、トラックの全国協会等を訪問して活動を行っている。
・1次電池部会、小形2次電池部会と一緒に合同PL委員会を開催し、安全対策事例を共有化した。
・10月26日、大分運輸支局で開催された「自動車せいびフェスティバル」に出展参加をし、安全の啓発を行なった。

(9) 広報総合委員会（毛利委員長）

・今年度は、「電池の安全で正しい使い方」を一般消費者に向け広く発信している。ホームページの改訂および活用、全国紙（毎日新聞）の活用、等を既に実施した。また、第2の人口密集地である関西地区で、初めて「関西でんちフェスタ」を8月19日に実施した。従来から行っている「電池教室」は夏休み期間を中心に実施し好評であった。「でんちフェスタ」は11月1日に実施し過去最高の2,400人の参加者があった。「電池PRキャンペーン」「プロ野球最優秀バッテリー賞」も従来通り実施を予定している。 以上

日本に一次電池が渡来した年月は明らかではありませんが、日本人で一次電池を初めて製作したのは佐久間象山であることは定説になっています。

徳川幕府の鎖国政策による泰平の夢を破ったペリーの来訪は1853年でありました。ペリーはその翌年の1854年に和親条約締結のため再び日本を訪れています。この時ペリーは將軍家に数多くの献上品を持参していますが、いわゆる土産品としての貴重品のほかに文明の機器の数々を持参致しました。文明の機器の中には、電信機2座、小型機関車、炭水車、客車、軌道一式などがありました。そして、その電信機の付属品として電信線4把、ガタパーチャ線1箱、電池4箱、亜鉛板、碍子、接続用器、モールス機用重錘、酸類各1箱がありました。この電信機用電源として献上された電池が、文献に明記されている上での電池の渡来ということになります。



図1. 佐久間象山

ペリーはこの年の1月11日から3月15日まで日本に滞在しましたが、その間の3月13日に電信機の実験は行ったようです。電信機の実験は、約1里の長さの線を張り多くの見物人のいる中で行われました。この時応接所の警備に当たったのが小倉藩および松代藩で、松代藩の参謀として佐久間象山は実験を見学したようです。

佐久間象山が電池を製作したのは、ペリー再渡来の4年後の1858年8月に行っています。彼が作った電池は「ダニエル電池」と言われています。J.F.Daniellが1836年に「ダニエル電池」を発明してから22年後のことでした。

佐久間象山は1860年にガルバニセスコックマシイネという一種の電気衝動治療機を製作していますが、彼が作った電池はこれの電源に使われています。

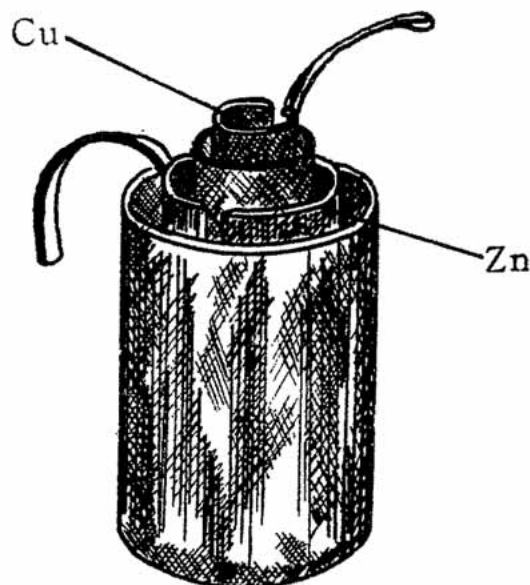


図2. ダニエル電池

平成20年11月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	1日(土)	でんちフェスタ	日本科学未来館(東京・江東区)で開催。約2400名が来場。
	4日(火)	148回講習実施委員会	大阪府及び香川県で開催した蓄電池設備整備資格者講習の修了考査について可否を判定した。
	5日(水)	T16回JEA蓄電池設備認定委員会幹事会	蓄電池設備資格審査案件1件を審議し、合格と判定した。蓄電池設備の型式認定案件29件を審議し、28件を合格、1件は保留と判定した。
	13日(木)	広報総合委員会	でんちフェスタ実施結果報告、バッテリー賞開催方法審議、等。
	18日(火)	149回講習実施委員会	愛媛県及び鹿児島県で開催した蓄電池設備整備資格者講習の修了考査について可否を判定した。
	19日(水)	T16回JEA蓄電池設備認定委員会	蓄電池設備資格審査案件1件、及び蓄電池設備の型式認定案件28件を審査し、承認した。
二次電池部会	5日(水)	二次電池部会	二次電池部会の委員会活動状況ヒアリングと審議。
	6日(木)	充電器分科会	JISC4402「浮動充電用サイリスタ整流装置」2004年版の改正審議、他。
	6日-7日	小形鉛分科会	SBA改正案審査、他。
	7日(金)	自動車用電池リサイクル特別委員会	自動車用電池新リサイクル・スキームの検討。
	12日(水)	資材委員会	自動車用電池新リサイクル・スキームの検討、他。
	13日(木)	自動車鉛分科会	SBA改正案審議、他。
	14日(金)	用語分科会	SBA改正案様式審査、他。
	14日(金)	産業用電池委員会	産電リサイクル委員会との意見交換。
	14日(金)	直需分科会	自動車用電池新リサイクル・スキームの検討、他。
	16日-17日	据置鉛分科会	JIS, SBA改正案審議、他。
	19日(水)	市販分科会	自動車用電池新リサイクル・スキームの検討、他。
	20日-21日	産業用電池技術サービス分科会	蓄電池及び蓄電池設備の点検整備、リサイクルに関する啓蒙資料(リーフレット); IPS/TS003,006,007の内容見直し、及びSBAG0605:「直流電源装置の定期点検項目及び点検周期に関する指針」の定期見直し、他。
	26日(水)	電気車リサイクル分科会	フォークリフト用電池リサイクルスキームの検討。
	27日(木)	産業用電池リサイクル委員会	産業用電池リサイクルスキームの検討。
27日(木)	電気車リサイクル分科会	フォークリフト用電池リサイクルスキームの検討。	
28日(金)	PL委員会 自動車電池技術サービス分科会	安全啓発推進審議、他。	
小形二次電池部会	10日-11日	再資源化委員会	リサイクラーにて廃棄電池調査。
	14日(金)	国際電池規格委員会	IEC安全規格審議、その他海外規格情報交換、月末国際会議準備。
	17日(月)	LIB技術委員会	ガイドライン検討。
	19日(水)	リチウム二次分科会	JISC8712の見直し。
	20日(木)	国際電池輸送委員会	国連危険物輸送委員会および同WGの審議事項について。
	21-22日	ニカドニッケル水素分科会	IEC62951のメンテナンス対応、他。
	26日(水)	技術委員会	分科会活動内容の検討、関連委員会との情報交換。
	26日(水)	業務委員会	10月度販売状況の検討及び動態確認。
	27日(木)	LIB安全性委員会	ICE62133改訂提案の検討内容審議。
	27日(木)	国際電池規格委員会	IEC安全規格審議、その他海外規格情報交換。
28日(金)	中国規格WG	中国福州での会議のための対応法審議。	
一次電池部会	7日-8日	資材委員会	製錬メーカー訪問、工場見学。
	11日(火)	技術委員会WG	評価試験法ガイドラインの検討。
	18日(火)	業務委員会	一次電池広告表示基準の作成検討。
	21日(金)	PL委員会	玩具協会との事前内部打合せ。

中小企業の皆さんへ

中小・小規模企業を全力をあげて応援します！

中小企業庁

●緊急保証の対象業種を600超に拡大しました。

・一般保証8千万円に加えて、別枠で8千万円（担保がある方は、一般保証2億円に加えて、別枠で2億円）までの保証を利用できます。

※対象業種については、ホームページ(<http://www.chusho.meti.go.jp>)でご確認ください。

●セーフティネット貸付は、業種を問わず利用可能です。

・全業種の方が、4億8千万円（中小企業の方）、4800万円（小規模企業の方）まで利用できます。

経済産業局お問い合わせ先

北海道経済産業局 産業部中小企業課

TEL 011-709-1783（直）

関東経済産業局 産業部中小企業課／中小企業金融課

TEL 048-600-0334（直） TEL 048-600-0425（直）

中部経済産業局 産業部中小企業課

TEL 052-951-2748（直）

中国経済産業局 産業部中小企業課

TEL 082-224-5661（直）

九州経済産業局 産業部中小企業課

TEL 092-482-5448（直）

東北経済産業局 産業部中小企業課

TEL 022-222-2425（直）

近畿経済産業局 産業部中小企業課

TEL 06-6966-6024（直）

四国経済産業局 産業部中小企業課

TEL 087-811-8529（直）

沖縄総合事務局 経済産業部中小企業課

TEL 098-866-1755（直）

製造事業所の皆様へ

工業統計調査に御協力ください

経済産業省

平成20年工業統計調査を12月31日現在で行います。

調査の実施にあたっては、本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。

調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

9月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2008年9月）

単位：数量—千個、金額—百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	556,160	81,537	101%	106%	4,464,206	658,313	100%	114%
一次電池計	368,659	11,685	97%	93%	2,961,950	94,522	94%	93%
マンガン乾電池	24,654	489	62%	72%	216,826	3,957	57%	67%
アルカリ乾電池計	139,356	5,455	118%	103%	1,059,630	42,482	115%	104%
単三	86,240	2,790	131%	118%	647,765	21,881	123%	108%
単四	31,887	1,037	101%	85%	273,360	9,776	106%	96%
その他	21,229	1,628	103%	96%	138,505	10,825	105%	103%
酸化銀電池	78,394	975	99%	103%	632,950	7,777	92%	94%
リチウム電池	117,269	4,485	97%	101%	965,986	37,131	97%	98%
その他の乾電池	8,986	281	40%	23%	86,558	3,175	55%	39%
二次電池計	187,501	69,852	111%	109%	1,502,256	563,791	114%	119%
鉛電池計	3,094	16,381	89%	107%	25,251	136,073	94%	126%
自動車用	2,207	9,729	89%	105%	17,477	82,259	94%	135%
二輪用	248	688	84%	94%	2,132	6,046	78%	100%
小形制御弁式	371	917	84%	107%	3,368	8,064	98%	112%
その他	268	5,047	102%	115%	2,274	39,704	106%	118%
アルカリ電池計	59,834	15,260	99%	86%	501,287	129,284	110%	105%
完全密閉式	18,552	2,786	77%	57%	190,295	30,224	93%	88%
ニッケル水素	41,265	12,129	113%	96%	310,889	96,739	124%	112%
その他のアルカリ電池	17	345	131%	99%	103	2,321	97%	95%
リチウムイオン電池	124,573	38,211	119%	123%	975,718	298,434	117%	123%

9月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2008年9月）

単位：数量－千個、金額－百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	308,878	47,541	104%	120%	2,482,506	359,604	102%	117%
一次電池計	150,755	3,325	103%	101%	1,217,750	25,873	96%	89%
マンガン	12,871	214	50%	56%	130,566	1,990	55%	63%
アルカリ	41,752	762	157%	142%	284,836	4,605	134%	118%
酸化銀	45,308	586	114%	114%	358,637	4,549	99%	91%
リチウム	48,858	1,720	95%	96%	424,680	14,294	96%	87%
空気亜鉛	1,664	28	75%	78%	14,449	253	99%	106%
その他の一次	302	14	252%	45%	4,582	181	180%	69%
二次電池計	158,123	44,215	104%	122%	1,264,756	333,732	109%	120%
鉛蓄電池	241	1,230	98%	126%	1,801	8,573	112%	115%
ニカド	15,842	1,858	74%	62%	161,766	18,952	97%	93%
ニッケル鉄	0	0	—	—	198	27	7827%	530%
ニッケル水素	19,532	5,115	93%	92%	149,602	41,556	121%	120%
リチウムイオン	112,468	32,869	116%	135%	874,103	240,931	115%	125%
その他の二次	10,040	3,143	86%	137%	77,286	23,692	69%	99%
全電池合計（輸 入）	76,713	8,718	145%	117%	686,920	72,446	116%	104%
一次電池計	65,144	1,082	146%	130%	600,684	9,600	118%	88%
マンガン	20,333	281	167%	285%	163,605	2,033	222%	238%
アルカリ	33,977	433	151%	132%	351,018	4,283	103%	86%
酸化銀	339	9	122%	152%	3,477	65	156%	107%
リチウム	7,618	282	91%	100%	62,028	2,403	86%	65%
空気亜鉛	436	21	467%	235%	6,050	222	94%	91%
その他の一次	2,441	56	220%	52%	14,507	593	122%	54%
二次電池計	11,569	7,637	142%	115%	86,236	62,846	103%	107%
鉛蓄電池	661	2,848	98%	118%	5,661	22,690	97%	119%
ニカド	1,158	347	108%	87%	10,869	3,329	86%	89%
ニッケル鉄	4	2	20%	37%	179	45	175%	38%
その他の二次	9,747	4,440	153%	117%	69,526	36,783	107%	102%